

平成31年度実施方針

イノベーション推進部

1. 件名

宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（ベンチャー企業等による宇宙用部品・コンポーネント開発助成）

2. 根拠法

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法第15条第3号及び第9号

3. 背景及び目的・目標

政府は技術的な戦略として2016年3月に「宇宙用部品・コンポーネントに関する総合的な技術戦略」を制定し、技術戦略の策定による関係者の分担・協力により、外需・民需も見据えた適切な開発目標の設定と戦略的な研究開発の推進、宇宙実証機会の拡大と効果的な活用、JAXA部品認定制度の国際的な認知度向上等による輸出環境の改善、部品・コンポーネントの輸出拡大に向けた取組、自動車部品等の積極的な活用、PDCAサイクルのための体制の構築を掲げている。

2017年5月に策定された「宇宙産業ビジョン2030」では宇宙産業の振興に向けて、中小・ベンチャー企業等をはじめとした新規参入者の層を拡大させるとともに、新規参入者の事業化・成長への取組を積極的に後押しし、市場の活性化を図っていくことが重要であると記載されている。

本事業では、潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等の保有する技術シーズを活用し、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に係る研究開発の一部を支援することで、宇宙機器産業の裾野を広げると共に、人工衛星等の高信頼性・低コスト化を実現し、我が国の宇宙機器産業の競争力強化を目指す。

4. 実施内容及び進捗状況

4. 1. 2018年度（平成30年度）事業内容

宇宙用部品・コンポーネントに係る研究開発テーマの公募を実施、6件を採択した。

また、各機関と連携したシームレスな支援として、宇宙ビジネスに関する投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）を創設した。

4. 2. 実績推移

年度	予算	勘定	応募 件数	採択 件数	倍率	実績額
2018年度 (平成30年度)	100百万円	一般勘定	11件	6件	1.8倍	94百万円

5. 事業内容

5. 1 事業概要

潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等が有する優れた技術シーズを、人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に適用し、迅速に実用化に繋げることで、宇宙産業の国際競争力の強化の一助となる。

実施にあたっては、潜在的技術を有する中小・ベンチャー企業等から広くテーマを公募し、有望な開発テーマを選定し、課題解決のための研究開発を助成する。

また、各機関と連携しながら、宇宙ビジネスに関する投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）についてマッチングイベントを実施する等、シームレスな支援を行う。

※なお、2019年度（平成31年度）の公募は予定していない。

5. 2 事業方針

(1) 助成要件

① 対象事業者

助成対象事業者は中小・ベンチャー企業等を対象とする。

② 対象研究開発テーマ

人工衛星等の宇宙用部品・コンポーネントの開発に関するテーマ

(2) 助成条件

① 実施期間

3年以内

② 規模・助成率

・ 助成額

1件1年間当たり20百万円以内

・ 助成率

2/3以内

(3) その他

また、各機関と連携しながら、宇宙ビジネスに関する投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）についてマッチングイベントを実施する等、シームレスな支援を行う。

6. その他重要事項

6. 1. 評価

各実施テーマについて、必要に応じて中間評価または事後評価を行う。

6. 2. 継続事業に係る取扱いについて

2019年度（平成31年度）の助成先は以下のとおり。

採択年度	テーマ名	助成先
2018	超高温環境で使用可能な長尺・柔軟のIr系熱電対の開発	株式会社C&A
2018	新規アライメント機構部品の開発	スーパーレジン工業株式会社
2018	超小型衛星用姿勢測定コンポーネントの研究開発	株式会社天の技
2018	液晶セルベースの可変波長フィルタとピント調整コンポの実用化	株式会社ジェネシア
2018	低毒性推進剤を用いた超小型衛星搭載用一液式スラスタの開発	株式会社由紀精密 高砂電気工業株式会社

7. スケジュール（予定）

2019年 10月 中間評価・事後評価

8. 実施方針の改訂履歴

2019年2月18日 制定

(別紙) 実施体制スキーム図

